

ボッチャ大会を開催



第 133 号

千葉市肢体不自由児者父母の会

会長 中島 哲男

編集人 父母の会広報部

千葉市美浜区磯辺 2-21-1

TEL・FAX 043(303)0582

fubonokai@ia4.itkeeper.ne.jp

10月7日(土)桜が丘特別

支援学校体育館において、千葉ボッチャ協会宮坂昇会長、BCクラス荒井育子選手、オープン車いすクラス小松輝昭選手をお招きして、総勢85名で開催いたしました。

まず、2選手の素晴らしいプレーを見ながら、ボッチャのルールを分かりやすく説明してください、ボッチャの奥深さを肌で感じました。

5チームに分けてリーグ戦で行ったゲームは、大盛り上がりで2面のコートから沢山の歓声があり、「楽しかった。」と言っていました。

最後になりましたが、ご挨拶を頂きました佐々木校長先生、ボランティアをして頂きました桜が



丘の先生方、淑徳大学ドルフィンズの方々、皆様のご協力のおかげで無事に終了することが出来ました。

あらためて感謝申し上げます。

(田中扶美子)

●参加者の声●

桜が丘の学年の違う人達だけでなく、袖ヶ浦の人と同じグループで試合をしました。始めは遠慮しながらだったのですが、球を投げる順番を決めるのにゆずり合っていました。総当たり戦でだんだんチームワークができ、狙った所に球が止まると歓声が上がりました。ボッチャをすることができました。

(栗飯原礼子)



左より小松輝昭選手、荒井育子選手

今まで何度かボッチャを経験してきましたが、ルールも本格的に行い、奥が深いスポーツだなと思いました。普段なかなか交流できない方々とも大いに盛り上がり、上手下手関係なく、真剣勝負ができて、チームも優勝し、思い出に残る一日となりました。

(橋本美保子)

ボッチャとは・・・

ボッチャは運動能力に障がいがある人向けにヨーロッパで考案されたパラリンピックの正式種目で、世界40カ国以上に普及しています。

赤・青のチームが革製のボール6個を投げたり転がしたりして、白色的玉に近づく程度により、男女別の異なる

障がいの程度により、男女別の異なるいくつかのクラスがあります。

研修会

災害弱者の防災について



7月12日、千葉市ハーモニープラザ会議室において「災害弱者の防災について」の研修会を行いました。参加者は28名でした。

第1部は千葉市防災対策課の須崎氏を講師に迎え、熊本地震の避難所に応援に行った話、災害時の現状や千葉市の防災・減災の取り組みについてうかがいました。

第2部は障害者用の備蓄食について

検討会をしました。ヘルシーフードよりサンプル品、カタログをご提供していただき、また長期保存のきく非常食を試食しながら、災害時の準備について話し合いました。私たちができることとしては、



防災研修会の非常食

平常時に家の中の安全対策（家具の固定）や、日頃から食料品、日用品を少し多めに購入し、ローリングストックしておく等が考えられます。

（研修部 山中）

参加者の声

最近たまに耳にする「福祉避難所」について詳しく知りたいと思って勉強会に参加しました。いきなり福祉避難所に行くのではなく、まずは地域の避難所に行き福祉避難所を希望する旨を伝えること、地域の避難所に居づらく自宅で過ごすにしても一度は地域の避難所に行く重要性を教えて頂きました。

（井野久美子）

第一部の市防災対策課職員のお話しの中で、熊... 震の現地に支援に行か

れた時の現状を聞き、自分と子どもがその場にいたらの確な行動が出来るか不安が募りました。当たり前ですが備蓄品・薬の用意が一番大事だと実感しました。

（近藤美紀）

施設見学
「ディアフレンズ 美浜」

10月17日、ディアフレンズ美浜を参加者9名で見学しました。

中島施設長より、ディアフレンズの沿革、理念について、続いて清水副施設長より、事業概要について伺いました。①施設入所34名、②短期入所8名③通所26名④福祉ホーム5名⑤居宅介護・重度訪問介護・同行援護・移動支援を行っています。

概要を伺った後、施設内を案内していただき、食堂で季節を感じるメニュー表や浴室、トイレ、利用者の方々の活動の様子を見学しました。

見学終了後30分間ほどいろいろな質問を受けていただきました。

今回はお子さんが在学中の保護者が多かったのですが、将来の生活について具体的に考える良い機会となりました。

（研修部 山中）

参加者の声

卒業後の施設見学に初めて参加しました。個人のニーズにあった個室、広



くて明るい日中活動スペース、浴室やトイレなど使いやすく考えられた設備、安心して暮らせるすばらしい施設でした。形態が変われど、このような施設があることが親亡き後の子ども達の安心した生活につながると感じました。

（伊東薫）

息子も中学部3年生になり、そろそろ具体的に実習先や卒後の進路を検討しようと思いを決めました。福祉サービス事業所の現状にまでわたる丁寧な説明と、食物アレルギー対応をきちんとしてくださる食堂・安心のお風呂設備等の見学を通して、勉強になった一日でした。ありがとうございました。

（三枝慶子）

夏期休暇支援

音楽療法



8月1日(火)千葉市ハーモニープラザにて、竹内和美先生をお迎えして音楽療法の会を催しました。14組の親子、兄弟の参加者があり、聴覚、視覚、触覚をフル稼働させ楽しく遊びました。

●参加者の声●

楽器だけでなくボールを使ったりバラエティに富んだ内容で楽しかったです。曲も子どもが好きな物ばかりで喜んでいました。(中村美恵)

今回初の参加でした。始めは緊張し

ていました。広い体育館で音楽に合わせて車いすで動き出すと、体を前後に動かし楽しさを表現していました。またチャフチャフという楽器を気に入り何度も自分で鳴らしていました。音楽の楽しさをみんなで味わえてとても有意義な時間を過ごせました。(K・S)

クッキング&絵本

8月23日(水)千葉市生涯学習センター調理室と図書館にて一日の企画で開催しました。野菜ソムリエの栗原美由紀



さんを講師に迎えパンとピザを作りました。野菜にまつわるお話も交え美味しさにも皆笑顔が溢れていました。午後はお話の部屋での読み聞かせや手遊び歌で楽しく過ごしました。

(行事部 池上)

●参加者の声●

子どもにとって自分の作ったものをその場で食べるという経験は初めてだったので、とても新鮮で楽しかったです。また、昼を挟んでの長時間の企画

でしたので体力が持つか心配しましたが、元気に過ごすことができました。

(井野久美子)

兄弟も一緒に、一日クッキングや絵本を楽しめてとても良かったです。また同じ企画がありましたら、是非お友達も誘って参加したいと思っています。

(小金澤さとみ)



ライフステージを考える会

―施設見学「りべるたす」―

7月24日、ライフステージを考える会では13名の会員で「社会福祉法人りべるたす」のグループホームを見学に行っていました。ヘルパー事業や移動支援、共同生活援助(グループホーム)、相談支援事業等を行っている法人です。

代表の伊藤佳世子理事は「生活するとは食べるだけでなく生きて、さらに仲間がいる安らぎを得ることができ、地域住民との交流やヘルパー同士が事業所を超えて助け合える環境でもあるそうです。」

元看護師で、長期療養患者の社会的入院や筋ジス・重心病棟での経験か

「医療的管理だけではなく、楽しいと感じる短期入所」

今後は地域の社会資源を生かし、拠点としての重度障害者の場所づくりを目指していると力強くお話されていました。(西長 和子)



プール事業報告

毎月第3日曜日、ハーモニープラザ水浴訓練室にて行っています。今年も6・7・8月に「ゆめけん」の指導員の方々に来て頂き、楽しく活動しました。(池上)



活動報告

- 7月24日 ライフステージを考える会
施設見学・りべるたす
- 8月1日 夏期休暇支援 音楽療法
- 8月23日 夏期休暇支援 クッキング
- 10月7日 ボッチャ大会
- 10月17日 施設見学・
ディアフレンズ美浜
- 10月28日 文化祭バザー出店
(桜が丘特別支援学校)
- 11月14日 育成旅行
(サンシャイン水族館)
- 11月25日 バザー出店
(ハーモニープラザフェスタ)
- 12月2日 千葉県障害者福祉大会

表彰

千葉県社会福祉協議会会長賞

西長 和子さん

千葉県社会福祉協議会会長賞

大村 千佳さん

永年にわたり尽力された功績が認められました。

第19回千葉県障害者福祉大会

12月2日(土)、ハーモニープラザ多目的ホールにおいて、第19回千葉県障害者福祉大会が開催されました。講演では作家の椎名誠さんの様々な旅のお話しに聞き入り、あつという間の楽しい時間となりました。

ウィンズめーる



池上 玲子

9月24日から28日の5日間、娘は韓国大邱での演奏旅行「音楽で手をつなごうプロジェクト」主催の第2回日韓交流コンサートに参加して来ました。

『障害のある人もない人も一つの輪になれる社会を目指す』をテーマに、5歳のダウン症のお子様を持つ音楽家のご夫妻が立ち上げたプロジェクトです。親子三代にわたり民間レベルでの日韓交流を実践されてきた明るくエネルギー溢る彼らとの出会いから、歌うことが何よりも大好きな娘にとって初の海外旅行となりました。

様々な障害のある演奏者グループと共に、日本チームは太鼓、マリンバなど打楽器、歌でソーラン節など2、3曲を演奏しました。

大邱特別支援学校の講堂から始まり、コンサートホール、大田コンベンションセンターのイベント会場と3日連続の公演で、バスに楽器を積み込みゾロゾロとまるで愉快な旅の一座!といった風情でした。キムチ盛り沢山の給食や楽屋弁当を食べたり、真剣なりハーサル後の空き時間は街に繰り出した日もありました。夕市の屋台街でのチームメンバーや現地スタッフとの心温まる交流等々、楽しく面白い経験をしました。出たがり屋の娘にとっては、毎日舞台に立ち、を頂ける、大好きなお

肉も頂ける(笑)という夢のような時間だったのではないのでしょうか。また現地の障がい児が奏でる美しいハーモニカ団の音色に感動したり、韓国の演奏者の直向きさやレベルの高さにも良い刺激を受けました。

最後に、この演奏旅行での新しい出会いや友情に感謝すると共に、障害や国籍さえも超え共感し合える音楽の力、素晴らしさを再認識しました。来年卒業を迎え自己表現の場が少なくなるであろう娘に、どうしたら生き生きとした日々をサポートをして行けるか。そんな自問自答も駆け巡った旅でした。

♥文化祭に出店しました♥



袖ヶ浦特別支援学校



桜が丘特別支援学校

鳩川 佳津子さん
(隼平さん母)

ご冥福をお祈りいたします。

あとがき

12月半ばが過ぎ、何かと慌しく過ごされていることと思います。

皆さんは、今年どのような年でしたでしょうか? 私ごとですが、家族の入院や自身の体調不良で体の不安が多かったです。

16才の息子は尿路感染から尿管結石がわかり、除去手術が無事に終わりましたが水分を多く摂る生活を心がけ、嚥下の不得意な中、今まで以上に時間がかかりその事ばかり気にかかる日々です。

主人は急性すい炎で10日間入院し退院後は脂質とたんぱく質の栄養指導のもと食事制限があり、本人が1番辛いと思います。家庭での食事作りも気をつけることがあり、プレッシャーの日々です。

健康であることの大切さを実感した年でした。

のびるをご愛読いただいている皆さんに感謝の気持ちとご健康をお祈り申し上げます。

(近)